



(11) 課題解決の方法論について学ぶ：「探究講演会」



【目 的】課題研究において、探究することや「問い」を立てることの重要性、また文献を読むことや他者と対話することの必要性について理解する。

【実施日】令和7年10月20日(月)14:10～16:00(講演:探究2時間分)

【講 師】弘前大学大学院教育学研究科 助教 若松 大輔 氏

(若松氏には本年度、本校学校運営協議会の委員としても御協力を頂いております。)

【演 題】「問うことを通して風景を変える—脱「情報処理」としての探究—」

【感 想】

- ・人生を充実させるには世界に対して能動的に取り組んでいくことが大切で、そのためには問いをもつことが大切。でも、問いを持つためには知識がなくてはならない。だからさまざまな文献を読み、たくさん疑問を持てるようにしたい。
- ・深く興味を持つ問いがないのは単に自分が知識不足だからなのだなと思った。まずは、文献をたくさん読んだり友達と情報共有したり、情報に触れる機会を増やしたい。
- ・今まで疑問に思ったことは調べて結果を知って解決だと思っていたが、なぜ疑問に感じたのかななども考えることにより人生を充実させられると思ったので、意識して物事を考えて生活していきたい。
- ・問わなければ世界が見えてこない、という文章に衝撃を覚えた。
- ・探究はやっていくうちにどんどん楽しくなるものなのだなと感じた。楽しくないのはそういう教科だからと思っていたが、やっぱり自分がどれだけ参加できるかなんだと思った。